

天秤タチウオ釣りの楽しみ方

平成 30 年 9 月 12 日

小柳正和

釣りの楽しさも人それぞれですが、釣り方も千差万別です。今回は天秤仕掛けでサバの切り身を餌にした釣法で楽しもうと思っています。考え方は色々ありますが、私の経験をもとに、楽しみ方を説明します。

天秤タチウオ釣りとは？

船からのタチウオ釣りは「天秤」「テンヤ」「ジグ」での釣りが有名です。

その中でも関東では、昔から天秤を使った釣法が一般的です。仕掛けはとってもシンプルで、30cm 前後の天秤に 40～80 号のオモリを付け、タチウオ専用の 1 本または 2 本針のハリスを付けるだけです。そこに、サバの切り身を付け、弱った小魚が逃げているイメージでタチウオを誘います。

服装について

服装は気候によって変わってきますが、基本は変わりません。何を基準にするかと言うと「安全」「安心」か？ということです。これだけは用意しておきたいものは以下のとおりです。

帽子、サングラス(偏光レンズ)、手袋、合羽、長靴、ライフジャケット

11 月は寒暖差が激しいので、寒さ対策もしっかりしておく必要があります。

道具について

最低限釣りに必要な道具は、竿、リール、仕掛け、餌です。

タチウオは上を向いて餌を探していますので、タチウオの上を小魚が上に逃げていくイメージを演出してあげます。その為には、適度なシャクリが必要になるので、あまり重たい竿は好ましくありません。また、タチウオは幽霊魚とも呼ばれ、ポイントを頻繁に移動します。水深も、5m から 150m の深場まで移動しますので、深場に移動したときのことを考え電動リールを使うのが良いと思います。もちろん体力に自身がある方は、手巻きリールでも全然大丈夫です。またタチウオは柵取りがとても重要になります。船長が、「下から 20m から 35m を探ってください」とアナウンスしたら、釣人は全員その範囲だけを探るようにしないとタチウオが散ってしまいます。正確に柵取りをする為に、カウンター付きのリールがお勧めです。

一般的な天秤タチウオの場合

竿 : 2m 前後の 7:3 調子または、6:4 調子 ビシ竿、ゲームロッドでも代用可能

リール : 小型電動リールまたは、小型同軸リール(カウンター付きが望ましい)

道糸 : PE1.0 号~2.0 号 最低 300m

リーダー : 6 号以上 2m 前後 無くても良い。

仕掛け : 30cm 前後の天秤

オモリ : 40 号~80 号

ロッドキーパー(竿を船べりに固定する道具です)

です。道具を購入してみようと思う方は参考にしてください。上を見るとキリがありませんので、家族の目を気にしながら検討しましょう。

初めての方は船宿に貸竿がありますので、まずは貸竿で始めることをオススメします。

その他用意しておきたいもの

クーラーボックス

60cm くらいが理想ですが、ある物で大丈夫です。

先細ラジオペンチ

魚から針を取るときに使います。タチウオは刃が鋭いので注意してください。

魚つかみ

魚を掴むときに使います。

ハサミ

餌(サバの切り身)の整形や糸を切るときに使います。

タオル 3 枚以上

手を拭いたり、汗を拭いたり、魚をおさえたり。

酔い止め薬

気休め程度しかありませんが・・・おすすめは「アネロン」です。

飲み物

最低 1.0L は用意しておきましょう。

食べ物(おにぎり・パンなど)

6 時間位海上にいますのでお腹も空きます。できれば片手で食べられるものが良いです。特に大物を釣ったあとはお腹ペコペコですよ。

仕掛けについて

天秤タチウオの仕掛けは、その名の通り「天秤」という道具を使います。天秤は、長いハリスがオモリに絡まないようにオモリとハリスに適度な距離を設けるために使います。ハリス

スが長くなればなるほど、長い天秤を使うのがセオリーです。タチウオの場合、ハリスが 2m 程度なので、30~40cm 程度の天秤を使うのが良いとされています。

天秤につけるオモリは、道糸の太さにもよりますが、概ね 40 号~80 号 2~3 個ずつ用意しましょう。使用するオモリは船長から指示がありますので、従うようにしましょう。ハリスには、タチウオ専用の針が 1 本ないし 2 本付けるのが一般的です。タチウオはとても刃が鋭いので、夜行パイプなどを使って噛み切られない工夫がされているものが多いです。初心者の方は 1 本針を使うことをお勧めします。釣具店には針サイズの違いなど様々な仕掛けが売っています。また、船宿にも船宿オリジナルの仕掛けがありますので、そちらを試してみるのも良いと思います。

ロッド

浅場…ライトタックル用のものならば何でもOK! (極軟のものは向きません)

深場…ライトタックル用のもので、少し硬めのもの。もしくはタチウオ専用のものも出ています。

天秤

ストレート系の天秤や感度重視のもの。
腕長30~40cmくらい

オモリ

水深に合わせて数種類持って行った方が良いでしょう。

例)PEラインが2号以下なら40~80号。それ以上なら60~100号(120号もあればなお良し)

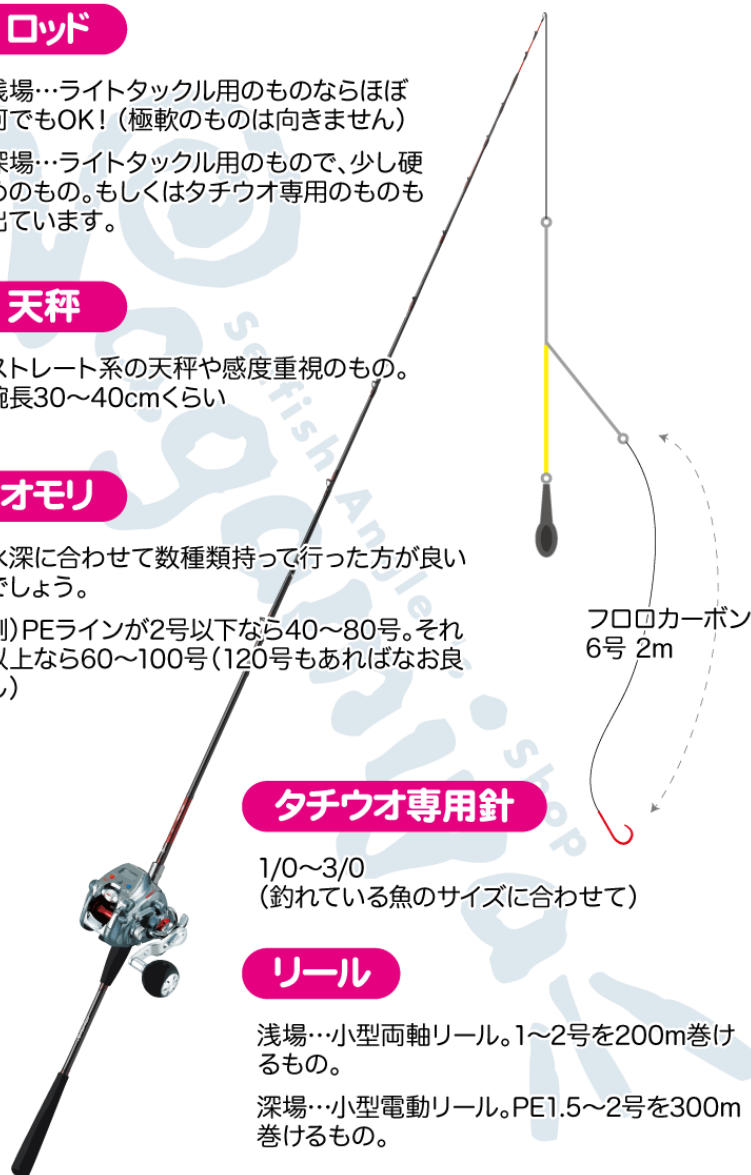
タチウオ専用針

1/0~3/0
(釣れている魚のサイズに合わせて)

リール

浅場…小型両軸リール。1~2号を200m巻けるもの。

深場…小型電動リール。PE1.5~2号を300m巻けるもの。



餌の付け方

餌にはサバの切り身を使います。餌は、ちょん掛けと縫い刺しの2つの付け方が一般的です。ちょん掛けは餌の先端に針を一度刺すだけです。タチウオの活性が高いときに有効とされています。通常は縫い刺しにすることが多いです。縫い刺しは3回ほど交互に針を刺します。大切なのは針に対してまっすぐに付けるということです。曲がっていると海中で餌がくるくる回ってしまいトラブルの原因になります。

仕掛けの投入の仕方

ロッドキーパーに竿をセットし、ハリスと天秤をそれぞれ持ちます。最初にハリス、次にハリスに絡まないように天秤を投入します。ハリスが絡んでいないことを確認したら、指示棚まで落とします。落とすときはサミング(リールの糸に軽く指を当てる)をします。

誘い

誘い方もいろいろです。大切なのは釣れている人の真似をしてみることです。

1. ただ巻き

ゆっくり指示棚の範囲を等速で巻いていきます。

2. シャクリ

小魚が来げているイメージで、軽くシャクリながら指示棚を巻いていきます。

3. 放置

指示棚の範囲で、巻くこともシャクルこともしないでただ待つだけです。邪道な誘い方ですが、これが結構食ってきたりします。

アタリがあったら

あたりがあっても誘いを続けるのが一般的です。タチウオが針掛かりすると、グッとハッキリした重さを感じますので、このタイミングでしっかり合わせて巻き上げます。

魚が釣れたら

通常タチウオはタモを使いません。海面まで来たら、竿を置いて、片手で天秤を持ち、片手でハリスを持って一気に船内まで取り込みます。タチウオは海面まで揚がってくると横に泳ぐことがあります。その時、隣の人を鋭い歯で切ってしまうことがあります。このようなことが無いように、躊躇せず一気に取り込みましょう。この時、絶対にタチウオの口の近くに手を持っていかないでください。

オマツリしたら

自分の仕掛けと隣の人仕掛けが絡まることを「オマツリ」といいます。もしオマツリしたらすぐに船長を呼び、船長の支持に従ってください。釣り方に注意していればあまりオ

マツリはしませんが、みんな釣りたい一心なので、オマツリしても寛容な気持ちで対応しましょう。

もし根掛かりしたら？

無理に引っ張ってはいけません。最悪竿が折れてしまいます。まずは、少しだけ糸を緩めて上下左右前後に動かしてみましよう。それでも外れないときは、リールの糸の部分をしっかり親指で抑えて、竿と糸をできるだけ一直線にして手前に引っ張ります。オモリを付けている箇所か、道糸とリーダーの接続箇所です。

釣果を上げるために

船長は楽しんでもらうために魚のいるポイントを必死で探してくれます。それでもその日の潮の流れや感が当たらずに良い釣果が出ない日もあります。たとえ釣れなくても船長を責めないようにしましょう。釣果を上げるために最も大切なことは・・・指示棚をしっかりと探ることと、釣れている人の誘い方を真似してみることです。オデコになっても決して不貞腐れることの無いようにしましょう。

安全で楽しい釣りをするために

最も大切なことは「船長の指示に絶対従う」ということです。これを守っていればほぼ安全で楽しい釣りができます。

参考サイト

- YTSURINEWS 船タチウオ攻略：切り身エサの付け方【画像で徹底解説】
<https://tsurinews.jp/17464/>
- YouTube 2018 タチウオ最前線 天秤タチウオ編 in 東京湾[DAIWA 公式チャンネル]
<https://youtu.be/iKlODF14NiM>
- YouTube #123 仕立て船で楽しむ！観音崎沖のタチウオ
<https://youtu.be/PoDJRtoQ2Vg>
- YouTube #254 夏タチシーズン突入！東京湾で天秤タチウオを堪能
<https://youtu.be/vQ-0FGjoVqg>

以上